

2024年度
三内丸山遺跡 経過観察年次報告書

2026年3月
青森県

1 資産の顕著な普遍的価値と完全性・真実性に関する観察指標

項目	指標	測定内容・方法	備考
I. 顕著な普遍的価値を伝達する属性の保護・管理	I-1. 属性a) 自然資源を巧く利用した生活の在り方を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(Ⅱ-2~8,10~13,Ⅳ-1,Ⅴ-2)	属性aに対する負の影響はみられない。
		- 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握(Ⅱ-9,Ⅳ-2)	
		- 構成資産から周辺への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2)	
	I-2. 属性b) 祭祀・儀礼を通じた精緻で複雑な精神性を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(Ⅱ-2~8,10~13,Ⅳ-1,Ⅴ-2)	属性bに対する負の影響はみられない。
		- 構成資産から周辺への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2)	
	I-3. 属性c) 集落の立地と生業との関係が多様であること	- 構成資産から周辺、構成資産周辺から構成資産への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2)	属性cに対する負の影響はみられない。
		- 構成資産が立地する地形の崩壊、変形状況の把握・記録(Ⅱ-10,Ⅴ-2,Ⅵ-1~2)	
		- 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握(Ⅱ-9,Ⅳ-2)	
		- 構成資産周辺の景観阻害要因と景観の改善と変化の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5)	
	I-4. 属性d) 集落形態の変遷を示すこと	- 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(Ⅱ-2~8,10~13,Ⅳ-1,Ⅴ-2)	属性dに対する負の影響はみられない。
		- 構成資産から周辺への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2)	
		- 被害等対策のための基礎情報の把握(Ⅱ-1~4,11,14,Ⅲ-4,Ⅳ-1,Ⅴ-1,Ⅵ-1,2)	

2 構成資産の保護・管理に関する観察

項目	指標	2023年度結果		2024年度結果		備考
Ⅱ.資産の保全状況と保護・管理	Ⅱ-2. 構成資産における現状変更件数	文化財保護法に基づく史跡の現状変更の許可申請・届出の件数及びその内容を把握する。	11件	10件	樹木伐採2件、史跡整備(園路改修2件、子供の墓覆屋設置、大型竪穴建物改修、給排水設備整備及び大型掘立柱建物跡の排水管修繕)、屋外展示作品の設置、復元竪穴建物跡建物345号解体・組立、子供の墓周辺の環境調査	
	Ⅱ-3. 構成資産におけるき損件数	文化財保護法に基づく史跡のき損届の件数及びその内容を把握する。	0件	0件		
	Ⅱ-4. 遺産影響評価の実施件数	史跡整備、き損時の修復等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	9件	16件	表1参照	
	Ⅱ-5. 構成資産の公有地化率	民有地の買い上げ実施状況を把握する。	100%	100%		
	Ⅱ-6. 遺構の状況	遺構の状況について、観察、写真撮影等により記録する。	腐食・劣化なし	腐食・劣化なし	表2参照	
	Ⅱ-7. 気温、湿度、降水量の経年変化	大気の時常観察を行い、気温、湿度、降水量の変化を計測する。	年平均気温	12.6℃	年平均気温	12.3℃
			湿度	76.50%	湿度	77.0%
			年間降水量	1316mm	年間降水量	1437mm
	Ⅱ-8. 地下水位	低湿地における水量、水質の状況を観察する。	変化なし	変化なし		
	Ⅱ-9. 植生の状況	構成資産内の植生の状況について観察、写真撮影等により測定する。	変化なし	変化なし	表3参照	
	Ⅱ-10. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産における被害状況を把握する。	被害なし	被害なし		
	Ⅱ-11. 構成資産の保存活用協議会等の開催数	構成資産を所管する地方公共団体を中心とした史跡整備委員会、保存活用協議会等の開催数を把握する。	6回	6回	表4参照	
	Ⅱ-12. 資産の調査研究	資産に関わる調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果等を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	11件	11件	表5参照	
	Ⅱ-13. 関連文化財の調査研究	構成資産に関連する文化財の調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	0件	0件	表6参照	
	Ⅱ-14. 調査研究体制の充実	構成資産の調査研究等を担う専門職員の数を把握する。	10人	10人	副所長1名、保存活用課9名 ※世界文化遺産課は除く	
Ⅱ-15. 不適格工作物の撤去等の状況	構成資産内に現存する不適格工作物の撤去等の状況を把握する。	あり	あり	表7参照 仮設建物(旧展示室)		

3 構成資産及び緩衝地帯に影響を与える諸条件に関する観察指標

項目	指標		2023年度結果		2024年度結果		備考
Ⅲ.開発圧力	Ⅲ-1. 公共事業の発注件数	緩衝地帯の道路、河川、治山等の公共事業発注件数を把握する。	2件		1件		法面保護工事
	Ⅲ-2. 民間の開発行為件数	緩衝地帯における開発許可申請や建築確認件数を把握する。	開発許可申請	8件	開発許可申請	9件	表8参照
			建築確認件数	4件	建築確認件数	1件	
	Ⅲ-3. 景観条例に基づく届出件数	景観条例に基づく届出件数を把握する。	届出件数	5件	届出件数	0件	
			事前協議件数	0件	事前協議件数	0件	
Ⅲ-4. 遺産影響評価の実施件数	開発行為等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	18件		10件		表9参照 緩衝地帯8件、緩衝地帯の外側2件	
Ⅲ-5. 構成資産の内外からみた眺望の観測	視点場からみた眺望の定点観測により、視界に入り込む阻害要因を把握する。	変化なし		変化なし		表10参照	
Ⅳ.環境変化	Ⅳ-1. 大気汚染に係る環境基準達成状況（二酸化硫黄・二酸化窒素）	大気の常時監視を行い、大気中の二酸化硫黄・二酸化窒素含有量を測定する。	二酸化硫黄		二酸化硫黄		
			年平均値	0.001ppm	年平均値	0.001ppm	
			日平均値の年間2%除外値	0.002ppm	日平均値の年間2%除外値	0.002ppm	
			環境基準適否	適	環境基準適否	適	
			二酸化窒素		二酸化窒素		
			年平均値	0.001ppm	年平均値	0.006ppm	
	日平均値の年間98%値	0.007ppm	日平均値の年間98%値	0.022ppm			
環境基準適否	適	環境基準適否	適				
Ⅳ-2. 植生の状況	構成資産周辺の植生の状況について観察、写真撮影等により記録する。	変化なし		変化なし		表11参照	

項目	指標		2023年度結果	2024年度結果	備考
V.自然災害	V-1. 災害発生情報の観測	気象・地震・津波・火山活動による 災害発生情報を把握する。	0回	0回	
	V-2. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構 成資産周辺の被害状況を把握する。	被害なし	被害なし	
VI.観光圧力	VI-1. 来訪者数	構成資産への来訪者数を測定する。	構成資産への来訪者数	構成資産への来訪者数	表12参照
			244,579人	233,687人	
			ガイドンス施設への来訪者数	ガイドンス施設への来訪者数	
			244,579人	233,687人	
	VI-2. 自動車数	構成資産の周辺地域における駐車場入 込状況を測定する。	影響なし	影響なし	表13参照
VI-3. 便益施設等の設置状況	構成資産における便益施設等の設置状 況を把握する。	設置済	設置済	表14参照	

※ 資産や緩衝地帯に影響を与える可能性がある計画や大規模開発等

該当なし。

4 顕著な普遍的価値の伝達に関する指標

項目	指標	2023年度結果	2024年度結果	備考	
VII. 顕著な普遍的価値の伝達	VII-1. 資産に関する研修会等への参加者数	105,556人	251,115人	表15参照	
	VII-2. ガイダンス施設の設置状況	設置済	設置済	2002年11月30日 縄文時遊館開館	
	VII-3. パンフレットやホームページによる情報提供	パンフレット等の発行回数	4回	5回	表16参照
		パンフレット等の発行部数	188,000部	200,500部	
		ホームページの更新回数	54回	61回	
		ホームページのアクセス数	381,413回	366,324回	
		パンフレット等の発行回数	4回	5回	
VIII. 地域住民、民間団体の活動	VIII-1. 資産に関する地域住民、民間団体の活動	59,518人	55,237人	表17参照	

※2024年度の特記事項

・2024年11月5日、三内丸山遺跡見学者950万人達成セレモニーを開催した。
 ・2025年3月28日、青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生に関する条例が公布され、三内丸山遺跡の特別史跡範囲・資産範囲及び緩衝地帯が「保護地域」（再生可能エネルギーを電気に変換する施設を設置できない地域）に定められた。施行は2025年7月1日。

表1 資産内における遺産影響評価の実施状況
【行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	行為の概要	影響レベル	詳細分析の要否	判断理由	記録作成機関
三内丸山遺跡	構成資産内	立木伐採	レベル0	否	倒木の危険性が懸念される樹木を地上部分で伐採するため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、当構成資産内に設けられた視点場からも視認できないため、眺望や一体的な景観に対して負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	縄文春祭り	レベル0	否	掘削等を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、一時的なイベントであるため、眺望や景観に対する負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	園路改修工事	レベル0	否	既存園路改修に係る掘削深度は路盤内に収まり、新設園路の掘削深度も保護盛土内に収まるため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、視点場から視認できるが、眺望や景観と調和した素材・色調であり、負の影響を与えるものではない。園路改修により、見学上の快適性・安全性の向上が図られる。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	発掘調査(第49次調査)	レベル1	否	顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に与える影響は軽微であり、眺望や景観に対する影響もない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	復元竪穴建物跡建物345号解体・組立	レベル0	否	老朽化が進行している既存の復元竪穴建物1棟の解体及び組立を行うもの。最大30cmの掘削を伴うが、保護盛土内に収まるため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、構成資産内に設けられた視点場から視認できるが、竪穴建物の位置・規模が同じため、眺望や景観に変化は生じない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	子供の墓覆屋新設工事		要	資産範囲内において露出遺構保護施設(現代的な建築物)を新設する工事であるため、詳細分析を行い、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対する影響の有無や程度、視点場からみた眺望や景観への影響、来訪者の安心、安全、快適性への影響等について検討・評価する必要がある。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	縄文夏祭り	レベル0	否	掘削等を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、一時的なイベントであるため、眺望や景観に対する負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	大型掘立柱建物跡の配水管修繕	レベル0	否	掘削範囲は、保護盛土内に収まるため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。排水管の交換によって地下水位を安定させることができ、遺構保全が図られる。また、施工予定地は覆屋内に位置するため、視点場からは直接視認することができず、眺望や景観に変化は生じない。	三内丸山遺跡センター

三内丸山遺跡	構成資産内	給排水設備整備	レベル0	否	給水管の掘削深度は保護盛土内に収まるため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、不凍水栓柱1本が地上に露出するが、視点場からは視認できず、周囲の景観とも調和したデザインを採用しており、負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	さんまるJOMONの日	レベル0	否	掘削等を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、一時的なイベントであるため、眺望や景観に対する負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	縄文の里山育成体験	レベル0	否	掘削等を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対する物理的な影響を与えるものではない。また、樹木の剪定及び外来種の伐採体験を行うが、眺望や景観に対する負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	四季島観光に係る照明器具の設置	レベル0	否	掘削等を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対する物理的な影響は皆無である。また、照明器具の設置は一時的なものであるため、現状の眺望や景観に対する負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	立木伐採	レベル1	否	樹木を地上部分で伐採するため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、視点場から伐採予定樹木を視認できるが、眺望や景観に対する変更はごく僅かである。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	大型堅穴建物(立体表示)改修工事		要	資産範囲ある大型堅穴建物(立体表示)の大規模な改修工事であるため、詳細分析を行い、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対する影響の有無や程度、視点場からみた眺望や景観への影響、来訪者にとって安心・安全、快適性への影響、工事期間中の価値伝達のあり方等について検討・評価する必要がある。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	発掘調査(50次調査)	レベル1	否	顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に与える影響は軽微であり、眺望や景観に対する影響もない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	園路改修工事	レベル0	否	既存園路改修に係る掘削深度は路盤内に収まり、新設園路の掘削深度も保護盛土内に収まるため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対して物理的な影響を与えるものではない。また、視点場から視認できるが、眺望や景観と調和した素材・色調であり、負の影響を与えるものではない。園路改修により、見学上の快適性・安全性の向上が図られる。	三内丸山遺跡センター

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	行為の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
三内丸山遺跡	構成資産内	子供の墓覆屋新設工事	土地・地形への影響、水源・水脈等への影響、景観・眺望への影響、来訪者への影響を分析	負の影響はない	掘削深度は保護盛土内に収まり、資産の土地・地形及び地下遺構や遺物のへの影響、地下遺構や遺物の保存に寄与する水源、水脈等への影響はない。資産内の眺望・景観に変化が生じるが、縄文のたたずまいと調和した形態意匠・色調とする措置が講じられている。本事業により、来訪者の顕著な普遍的価値への理解促進と保護意識の醸成が図られる。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	構成資産内	大型竪穴建物(立体表示)改修工事	土地・地形への影響、水源・水脈等への影響、景観・眺望への影響、来訪者への影響を分析	負の影響はない	経年劣化した茅葺屋根の葺き替え等であるため、地下遺構や地形等に対する物理的な影響、水源、水脈等への影響は皆無であり、資産内の眺望や景観の変化も生じない。本事業により、立体表示の健全性が向上し、来訪者の顕著な普遍的価値への理解促進と保護意識の醸成が図られる。	三内丸山遺跡センター

表2 遺構の状況

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
北地区	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年5月10日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年5月6日 撮影	遺構が保護盛土によって被覆され、保全状況に変化は認められない。
大型竪穴建物跡(露出展示)	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年5月22日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	専門職員が日常的に遺構の保全状況を監視しているほか、定期的に除草等の維持管理を実施しており、露出遺構に対する負の影響は確認されていない。

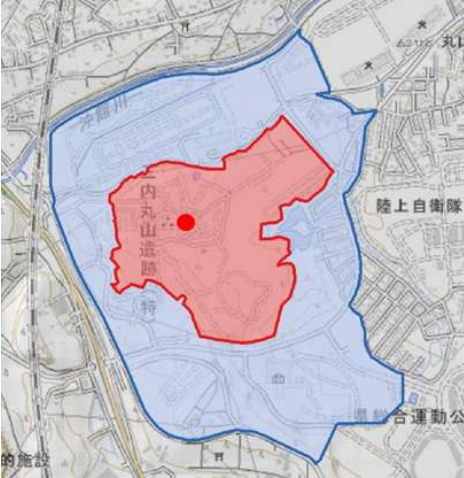
地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
大人の墓 (露出展示)	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年6月26日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月25日 撮影	専門職員が毎日遺構の保全状況を監視しているほか、定期的に覆屋内の菌類や草の除去を実施しており、遺構に対する負の影響は確認されていない。
南盛土(覆屋内露出展示)	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年7月10日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月25日 撮影	専門職員が毎日遺構の保全状況を監視しているほか、定期的に覆屋内の菌類や草の除去を実施しており、遺構に対する負の影響は確認されていない。

表3 植生の状況(構成資産範囲)

地点名	位置・方向	2023年度	2024年度	主な樹種、外来種等
遺跡東側	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年6月8日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	主な広葉樹:コナラ・クルミ・クリ 主な針葉樹:スギ、アカマツ・カラマツ 外来種:ニセアカシア
北側斜面	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月29日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月22日 撮影	主な樹種:クルミ・スギ・カラマツ・メタセコイア

表4 構成資産の保存活用協議会等の開催状況

【構成資産を主体とした協議会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
三内丸山遺跡保存活用推進協議会	2025年3月25日	1 令和6年度の保存・活用の取組について 2 令和7年度の保存・活用の取組予定について 3 各団体からの情報提供	

【保存・活用に係る委員会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
三内丸山遺跡発掘調査委員会	第1回 2024年8月20日	1 発掘調査について 2 特別研究推進事業について	
	第2回 2024年10月8日	1 発掘調査について 2 特別研究推進事業について	
	第3回 2025年2月13日	1 発掘調査について 2 特別研究推進事業について	

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
三内丸山遺跡史跡整備検討委員会	第1回 2024年6月11日	1 令和5年度の史跡整備事業について 2 令和6年度の史跡整備事業について 3 覆屋のデザイン方針について 4 竪穴建物（立体表示）等の整備について 5 植栽整備計画について	
	第2回 2024年11月22日	1 令和6年度の史跡整備事業について 2 令和7年度の史跡整備事業について 3 竪穴建物（立体表示）等の整備について 4 植栽整備計画について	

表5 資産の調査研究
【調査研究の実施状況】

調査研究の内容	実施主体	実施期間	概要	別添資料の有無	補助金等
特別史跡三内丸山遺跡第49次発掘調査	三内丸山遺跡センター	2024年6月3日～2024年10月31日	三内丸山遺跡第2号道路跡北端周辺における土坑墓及び遺構の分布状況を確認するために発掘調査を実施した。調査面積340㎡。	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	県内遺跡発掘調査等事業
三内丸山遺跡特別研究推進事業(共同研究)	三内丸山遺跡センター	2025年3月11日	共同研究「円筒土器文化における集落の実態をさぐる」の研究会議を開催し、竪穴建物跡出土円筒上層式土器の出土状況及び年代について検討した。	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
三内丸山遺跡特別研究推進事業(公募研究)	三内丸山遺跡センター	2024年4月～2025年3月	三内丸山遺跡の全体像解明並びに円筒土器文化、縄文文化に関する調査研究を推進するため、公募研究を実施した(2件採択)。 ・「青森地域の縄文時代中期後半～後期前半の配石墓の研究—三内丸山遺跡の環状配石墓を中心に—」 ・「人類の果実利用がニワトコ属核形態に与えた影響の解明」	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
遺跡環境調査	三内丸山遺跡センター	2024年4月1日～2025年3月31日	露出展示遺構の長期的な保存・公開に向けて、覆屋内の気温・湿度等のデータを収集するとともに、北の谷において有機質遺物の保存状況をモニタリングするための地下水位・水質調査を実施した。	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
関連遺跡調査	三内丸山遺跡センター	2025年3月	史跡整備状況、保存・活用の取組、組織・運営体制等について情報収集するために、山梨県北杜市において先進事例調査を実施した。	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	

【調査研究成果等を掲載した報告書等】

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
青森県埋蔵文化財調査報告書第651集 三内丸山遺跡49	三内丸山遺跡センター	A4 116p	300部	日本語	1992年～1994年度に実施した県営運動公園拡張事業に係る事前調査の内、古代・中世以降の発掘調査成果をまとめた報告書	県内遺跡発掘調査等事業
特別史跡三内丸山遺跡研究紀要6	三内丸山遺跡センター	A4 86p	500部	日本語	1 2023年度の発掘調査について 2 研究ノート 3 特別研究推進事業成果概要報告 4 三内丸山遺跡出土品の保存修理事業について 5 追加指定重要文化財の概要について	なし
令和6年度特別史跡三内丸山遺跡報告会発表資料	三内丸山遺跡センター	A4 26p	100部	日本語	第1部 発掘調査成果報告 第2部 特別研究成果報告	なし
特別史跡三内丸山遺跡第49次発掘調査現地説明会	三内丸山遺跡センター	A3 2p	150部	日本語	第49次発掘調査成果についての現地説明	なし
特別展「恵みの海と縄文—陸奥湾と三内丸山」	三内丸山遺跡センター	A5 58p	900部	日本語	特別展「恵みの海と縄文—陸奥湾と三内丸山」のガイドブック	なし
特別展「海がむすぶ縄文—津軽海峡と三内丸山」	三内丸山遺跡センター	A5 58p	1000部	日本語	特別展「海がむすぶ縄文—津軽海峡と三内丸山」のガイドブック	なし

表6 関連文化財の調査研究

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表7 不適格工作物の撤去等の状況

不適格工作物	位置	2023年度	2024年度	備考
旧展示室	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月4日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	変化なし
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表8 民間の開発行為件数

法令・制度等	条文	2023年度結果	2024年度結果	備考
文化財保護法	第93条	0件	1件	既設送電線張替
	第125条	0件	0件	
都市計画法	第29条	0件	0件	
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	第7条			
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第10条			
都市公園法（青森県都市公園条例）	第6条	5件	6件	
砂利採取法	第16条	0件	0件	
森林法	第10条の2	0件	0件	
	第10条の8			
	第34条1項			
	第34条2項			
	第34条の2			
	第34条の3			
河川法	第20条	0件	0件	
	第24条			
	第25条			
	第26条1項			
	第27条1項			
	第55条1項			
千歳市普通河川条例	第5条			
洞爺湖町普通河川管理条例	第5条			
弘前市法定外公共物管理条例	第4条			
函館市普通河川管理条例	第10条			
砂防法（砂防法施行条例：秋田県条例）	第4条			
農地振興地域の整備に関する法律	第15条の2	0件	0件	
	第15条の4			
農地法	第4条第1項	0件	0件	
	第5条第1項			
道路法	第24条	3件	2件	
	第32条			
墓地、埋葬等に関する法律	第10条			
函館市墓地条例	第8条			
八戸市墓地、埋葬等に関する法律施行細則	第3条			
漁港漁場整備法	第39条			
北海道自然環境等保全条例	第30条			

表9 緩衝地帯及びその周辺における遺産影響評価の実施状況
【開発行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	開発等の概要	影響レベル	詳細分析の要否	判断理由	記録作成機関
三内丸山遺跡	緩衝地帯	立木伐採	レベル0	否	顕著な普遍的価値を構成する地形等に対して物理的な影響はなく、眺望や景観への影響も皆無である。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	特別高圧送電線張替工事	レベル0	否	掘削を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する物理的な影響はない。また、構成資産内に設けられた視点場から事業予定地を視認できるものの、電線張替により現状の眺望や景観に変化は生じない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	屋外展示作品の設置	レベル0	否	掘削等を伴わないため、顕著な普遍的価値を構成する地下遺構や地形等に対する物理的な影響を与えるものではない。また、構成資産内に設けられた視点場から視認できないため、眺望や景観にも負の影響はない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	屋外展示作品の設置	レベル0	否	土床上一時的に設置するものであるため、顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する物理的な影響はない。また、構成資産内に設けられた視点場から視認できないため、眺望や景観にも負の影響はない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	給電設備設置	レベル0	否	既存の壁面コンクリートに新設するものであり、極めて小規模であるため、視点場からの眺望・景観に負の影響を及ぼすものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	U字溝交換・設置	レベル0	否	掘削を伴うが、破損したU字溝の交換であるため、顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する物理的な影響はない。また、視点場から事業予定地を視認できないため、現状の眺望や景観への影響も皆無である。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	クリの苗木植樹	レベル0	否	掘削を伴うが、小規模であり、顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する物理的な影響はない。また、構成資産内に設けられた視点場から事業予定地を視認できないため、眺望や景観への影響も皆無である。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯	住宅建築計画	レベル0	否	顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する物理的な影響はない。また、構成資産内に設けられた視点場から事業予定地を視認できないため、眺望や景観への影響も皆無である。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯外側	道路情報板設備更新工事	レベル0	否	緩衝地帯の外側で行われる行為であり、顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する影響はない。また、事業予定地は、構成資産内に設けられた視点場からも視認できないため、眺望や景観に対しても負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター
三内丸山遺跡	緩衝地帯外側	携帯電話無線基地局建設工事	レベル0	否	緩衝地帯の外側で行われる行為であり、顕著な普遍的価値を構成する地形等に対する影響はない。また、事業予定地は、構成資産内に設けられた視点場からも視認できないため、眺望や景観に対しても負の影響を与えるものではない。	三内丸山遺跡センター

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	開発等の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表10 構成資産の内外からみた眺望の観測

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
視点場1	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月31日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	展望景観に負の影響は認められない
視点場2	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月31日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	展望景観に負の影響は認められない

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
視点場3	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月31日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年11月20日 撮影	展望景観に負の影響は認められない
視点場4	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月31日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	展望景観に負の影響は認められない

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
視点場5	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月31日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	展望景観に負の影響は認められない
視点場6	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月29日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月5日 撮影	展望景観に負の影響は認められない

表11 植生の状況(構成資産周辺)

地点名	位置・方向	2023年度	2024年度	主な樹種、外来種等
遺跡南側	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年8月21日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年7月22日 撮影	主な樹種:クルミ・ナラ・ミズキ
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表12 来訪者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
構成資産	18,743	24,898	21,850	27,974	47,874	28,413	23,458	14,408	3,782	2,798	7,600	11,889	233,687	19,474
ガイダンス施設	18,743	24,898	21,850	27,974	47,874	28,413	23,458	14,408	3,782	2,798	7,600	11,889	233,687	19,474

表13 自動車数

【構成資産(駐車可能台数:513台)】

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時駐車場 開放日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【ガイダンス施設(駐車可能台数:513台)】

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時駐車場 開放日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表14 便益施設等の設置状況

【便益施設等の設置状況】

	休憩室	トイレ	乳幼児施設	高齢者用施設	通信環境	その他
構成資産	あり	あり	あり	あり	なし	
ガイダンス施設	あり	あり	あり	あり	あり	乳幼児施設:授乳室、ベビーカー貸出 その他:ミュージアムショップ、レストラン、売店

【域内における誘導サインの設置状況】

構成資産	98箇所
------	------

表15 資産に関する研修会等の開催状況

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
縄文体験学習1 「釣り針を作って魚を釣ろう」	2024年5月11日	三内丸山遺跡センター	16人	シカの角で釣り針を作って魚を釣る。
縄文体験学習2 「発掘をしてみよう」	2024年7月26日	三内丸山遺跡センター	16人	三内丸山遺跡内で発掘調査を体験する。
縄文体験学習3 「土器を作ろう①」	2024年8月17日	三内丸山遺跡センター	18人	粘土を使って縄文土器を作る。
縄文体験学習4 「貝のアクセサリーを作ろう」	2024年9月7日	三内丸山遺跡センター	16人	貝を使ってアクセサリーを作る。
縄文体験学習5 「土偶を作ろう」	2024年10月5日	三内丸山遺跡センター	10人	粘土を使って土偶を作る。
縄文体験学習6 「土器を作ろう②」	2024年10月19日	三内丸山遺跡センター	中止	講座は中止となったが、職員により土器の野焼きを実施した。
縄文体験学習7 「縄文時代の針を作ろう」	2024年11月9日	三内丸山遺跡センター	18人	イノシシの肋骨で針を作る。
縄文体験学習8 「石のアクセサリーを作ろう」	2024年12月21日	三内丸山遺跡センター	18人	石で装飾品を作る。
さんまる縄文学講座1 「三内丸山にみる漁労と狩猟」	2024年5月25日	三内丸山遺跡センター	28人	三内丸山遺跡センター専門職員が三内丸山にみる漁労と狩猟について解説した。
さんまる縄文学講座2 「噴火湾の漁労と狩猟」	2024年6月8日	三内丸山遺跡センター	30人	伊達市教育委員会職員が噴火湾の漁労と狩猟について解説した。
さんまる縄文学講座3 「北海道と本州の交流1」	2024年7月28日	三内丸山遺跡センター	27人	三内丸山遺跡センター所長が北海道と本州の交流について解説した。
さんまる縄文学講座4 「北海道と本州の交流2」	2024年8月24日	三内丸山遺跡センター	27人	北海道環境生活部文化局特別研究員が北海道と本州の交流について解説した。
さんまる縄文学講座5 「出土品を楽しもう」	2024年11月16日	三内丸山遺跡センター	26人	三内丸山遺跡センター副所長が北海道と本州の交流について解説した。
特別史跡三内丸山遺跡報告会	2025年3月8日	三内丸山遺跡センター	39人	発掘調査の成果、特別研究推進事業の成果についての報告会を実施した。
特別展「恵みの海と縄文－陸奥湾と三内丸山－」	2024年4月13日～2024年6月23日	三内丸山遺跡センター	20,328人	魚の骨や貝、漁の道具、塩づくりの土器などから、陸奥湾が育むさまざまな生き物と縄文時代の豊かな暮らしについて紹介した。
特別展「海がむすぶ縄文－津軽海峡と三内丸山－」	2024年7月12日～2024年9月23日	三内丸山遺跡センター	25,567人	青森県と北海道の縄文遺跡の出土品から、津軽海峡を介した交流・交易や両地域のむすびつきについて紹介した。
三内丸山遺跡保存決定30周年記念展	2024年7月20日～2025年3月2日	三内丸山遺跡センター	145677人	三内丸山遺跡の保存決定から現在に至るまでの歩みをパネルを用いて紹介した。
企画展「衣食住から探る縄文人の暮らし」	2024年10月26日～2025年3月9日	三内丸山遺跡センター	35,619人	三内丸山遺跡の出土品から、縄文時代の衣食住について紹介した。

三内丸山遺跡保存決定30周年記念シンポジウム「1994年夏、その時」	2024年9月15日	三内丸山遺跡センター	44人	三内丸山遺跡保存決定30周年記念を記念し、基調講演、講演3本、パネルディスカッションを実施した。
縄文の里山育成体験	2024年9月1日、9月29日、10月5日、11月2日	三内丸山遺跡センター	56人	地域住民参加型の「縄文」里山植物の育成・観察、クリの実の収穫、剪定・伐採等のワークショップを4回実施した。
縄文のムラづくり体験	2024年7月27日、9月23日、10月6日、10月20日、11月3日	三内丸山遺跡センター	73人	竪穴建物1棟について、解体から素材の採取・加工・組立までの体験を実施した(5回開催)。
第49次発掘調査現場ガイド	2024年7月1日～2024年9月13日	三内丸山遺跡センター	946人	第49次発掘調査について説明した。
第49次発掘調査現地説明会	2024年9月14日～2024年9月16日	三内丸山遺跡センター	260人	第49次発掘調査の成果を現地で説明した。
縄文春祭り	2024年4月20日～2024年4月21日	三内丸山遺跡センター	3,935人	出土品に触れる体験や発掘体験等を通じて、三内丸山遺跡の価値や内容について理解を深めるイベントを開催した。
縄文夏祭り	2024年7月20日～2024年7月21日	三内丸山遺跡センター	8,289人	出土品に触れる体験や発掘体験等を通じて、三内丸山遺跡の価値や内容について理解を深めるイベントを開催した。
さんまるJOMONの日	2024年9月14日～2024年9月16日	三内丸山遺跡センター	7,314人	出土品に触れる体験や当時の調理体験等を通じて、三内丸山遺跡の価値や内容について理解を深めるイベントを開催した。
縄文冬祭り	2025年2月1日～2025年2月2日	三内丸山遺跡センター	2,754人	出土品に触れる体験等を通じて、三内丸山遺跡の価値や内容について理解を深めるイベントを開催した。
		合計	251,151人	

表16 パンフレットやホームページによる情報提供
【パンフレット等】

名称	作成(改訂)主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
特別史跡三内丸山遺跡リーフレット	三内丸山遺跡センター	蛇腹折4山(210mm×525mm 仕上がり105mm×210mm)	日本語:170,000部 外国語:23,500部	日本語・英語・中国語(繁体・簡体)、韓国語	三内丸山遺跡・縄文時遊館観覧の案内リーフレット
ワークシート	三内丸山遺跡センター	A4	WEB上での配信	日本語	学校向けワークシート HP「特別史跡三内丸山遺跡」内でダウンロード可
三内丸山遺跡ガイドブック	三内丸山遺跡センター	B5 192p	1,000部	日本語	三内丸山遺跡とその出土品について解説するガイドブック
三内丸山通信 第80号	三内丸山遺跡センター	A3 2p	3,000部	日本語	三内丸山遺跡に関する情報紙
三内丸山通信 第81号	三内丸山遺跡センター	A3 2p	3,000部	日本語	三内丸山遺跡に関する情報紙

【ホームページ】

名称	運営主体	概要	アドレス	言語	更新回数	アクセス数
特別史跡三内丸山遺跡	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡の価値や内容、出土品、施設概要などを紹介している。	https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp	日本語・英語・中国語・韓国語	61回	366,324回

表17 資産に関する地域住民、民間団体の活動

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
遺跡ガイド	2024年4月1日～2025年3月31日	(一社)三内丸山応援隊	44,645人	来訪者に対して三内丸山遺跡の価値や特徴について伝える遺跡ガイドを行う。
体験学習	2024年4月1日～2025年3月31日	(一社)三内丸山応援隊	10,772人	ガイダンス施設内でミニ土偶作りなどの体験学習を行う。

表18 構成資産の保護に関する団体等

【管理団体等の概要】

名称	所有者／管理者	従事者、従業員数	団体の概要
青森県	特別史跡三内丸山遺跡の所有者・管理者	【資産管理保全に係る従事者数】 所長1名、副所長1名、専門職員9名、行政職5名 ※世界文化遺産課職員を除く	青森県教育委員会に属する三内丸山遺跡センターが資産の保存管理を所管している。

【構成資産の保存活用に関わる団体の概要】

名称	団体の種別	会員数	設立年月	団体の概要
一般社団法人 三内丸山応援隊	一般社団法人	87	1995年5月	三内丸山遺跡センターの受付、遺跡ガイド、ものづくり体験などの業務を行う。
NPO法人 三内丸山縄文発信の会	NPO法人	56	2003年8月	年6回「縄文ファイル」を刊行し、遺跡の最新情報を発信するほか、「縄文塾」という講演会などを実施している。